

そらこめ通信

No.86 2017年9月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

猛暑続きの7月でしたが、8月に入ると一転して暑さが収まり大変過ごしやすくなりました。沼田町では、30度を超える真夏日が8月に僅か1日しか無かったのが気になりますが(気象庁データ、昨年同月は7日間)、コメの作柄は今のところ平年並みのようでホッとしております。北海道農政部が発表した8月15日現在の道内における農作物の生育状況を見ると、水稻は空知で2日遅れ、全道では1日の遅れになっています。道内で遅れている地域は留萌で4日、桧山が3日遅れているとのこと。また、茎数が平年に比べて少ないのが今年の傾向だそうです。分けつが最も進む6月における天候不順が影響しているのかも知れません。草丈が平年に比べてやや長いのは7月の好天の影響でしょうか。いずれにしても上手いかないものです。茎数の減少は収量の減少に直結します。ただ、今年是不稔の割合が比較的少ないのだとか。まだ何とも言えませんが、もし、そうであれば農家にとって多少の救いにはなります。余談になりますが、昨年の台風で打撃を受けた馬鈴薯と玉ねぎは、今年は順調のようで、玉ねぎについては既に収穫が始まっているようです。

今年も8月25日(金)と26日(土)の2日間にわたり、沼田町夜高あんどん祭りが市街中心部で開催され、町内外から多くの観光客が来町しました。昭和52年に始まってから今年で41回目を迎えたこのお祭りは、今では北海道三大あんどん祭りのひとつに数えられるほど有名なお祭りになりました。沼田町開拓の祖であり、町名の由来にもなった沼田喜三郎翁の故郷富山県小矢部市から沼田町開基80年を契機に伝承されたこのお祭り。本家から受け継いで40年あまりたった今、沼田町にとってこのお祭りは大きな観光資源になっています。



「ゆめびりか」のほ場(8月26日)



「おぼろづき」のほ場(8月26日)



「ゆきさやか」のほ場(8月26日)



「きたくりん」のほ場(8月26日)



「ななつぼし」のほ場(8月26日)



収穫間近のソバ畑(8月26日)



菱形のソバの実(8月26日)



沼田町夜高あんどん祭り初日(8月25日)



大型あんどん同士のぶつけ合い(8月25日)



納屋の屋根の塗装下塗り(8月5日)



屋根塗装の仕上げ(8月7日)



完成しました(写真は裏側)(8月7日)



ラジコンヘリでの防除(8月6日)



ダリア「レッドストーン」(8月13日)



畦道での除草剤の散布(8月26日)



盛り上がる商工会あんどん(8月26日)



今年は裏方に徹する拓哉さん(8月26日)



フィナーレでの町長の挨拶(8月26日)

今年で41回目を迎えた沼田町夜高あんどん祭りですが、少子化や若者の町外への流出により祭りの規模を維持するのが年々難しくなりつつあるようです。特に、商工会の大型あんどんで担ぎ手が不足しているようで、自衛隊に応援を仰ぎながら凌いでいるのだとか。町内には自衛隊の施設があるため自衛隊の大型あんどんも祭りに参加していますが、商工会あんどんも手伝いながらとなれば、商工会のみならず自衛隊にとっても結構大変な話。各界で聞かれる人手不足という悩みが、こんなところにも顔を出しています。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 facebookによるブログ「生産日誌」更新中